

## 秋葉町内自主防災会による防災避難訓練が行われました

秋葉町内自主防災会では平成 24 年より、秋葉 3 町内において現在のような形での防災避難訓練を実施していますが、本年は 10 月 5 日に町内の皆様のご協力の下に実施することができました。その概要を報告します。なお、秋葉 1 丁目は戸数が多く、チェックシートのとりまとめ等に時間がかかってしまい、ご報告が遅くなってしまったことをお詫びいたします。

訓練は 10 月 5 日(日)8 時 30 分に地震が発生し、一部家屋が倒壊し、急傾斜地での土砂崩壊の恐れもあるとの想定の下、9 時より先ず隣組単位で集まり、お互いの安否確認を行った後に町内 6 か所に設けられた一次避難所(新津高校近くの隣組は直接新津高校)に避難、一次避難所からは各グループ長や、自主防災会役員の引率の下、新津高校に設けられた避難所に避難しました。

今回の避難訓練では 1 丁目は 179 世帯 263 人が参加、要援護者の方も 44 人が参加されました。

なお各ご家庭毎に記載していただいたチェックシートや隣組長さんに記載していただいた「避難訓練参加状況(隣組)」には多くの感想・意見が記載されていまして、その中の一部を紹介いたします。

	参加 家族数	参加人数	うち 要援護者
1 丁目	179	263	44
2 丁目	126	186	19
3 丁目	83	116	
計	388	565	63

### (避難訓練参加の感想、評価)

- ・いざという時にそなえて、防災訓練に参加して良かったと思います。
- ・避難場所までの経路が確認できた。道路が倒壊やブロック塀の崩壊等で通行不能の場合も考えられるので他のルートも確認の要ありと思った。
- ・年々訓練が充実してきており、住民の防災意識も高まっていると思います。
- ・年に 1 度でも避難訓練を行う事によって、日頃忘れがちな防災意識を持つことは大切な事だと思います。
- ・いつあるかわからない災害にそなえる大事なことだと思うので、避難訓練は意義あることで、いざという時の心構えにつながると考えます。
- ・新津には活断層が走っているから、いつ地震が起こるかわからない。訓練は必要である。

### (課題・問題点)

- ・元気な方だけが出席して支援が必要な方は出てないので訓練は意味のないものと思う。
- ・心臓が悪いので新津高校は遠すぎ、坂もあり、これからは参加できない

と思う。

- ・サイレンの音が聞き取りずらかった。
- ・43組は直接新津高校に避難することになっているが、「土砂災害特別警戒区域」の箇所を通ることになっており、44組～50組と同じように高校のグラウンドを通った方が安全に避難できる。グラウンドを直接横切れるように、グラウンドの東南側に非常時に使用できる出入口を作ってもらいたい。
- ・避難訓練も3回目になりダラダラして緊迫感が感じられない。移動などはもう少しスピード必要なのでは？
- ・200人もの人たちが集まったのであればもう一工夫がほしい。
- ・各町内ごとに実施した方が良いように感じました。

### (日頃の心構え等)

- ・常に避難通路確保の必要性を考え、手段・方法等意識を持って生活しています。
- ・冬場の停電・ガスのストップに備える。

次回以降の訓練実施にあたっては上記意見等も参考にして改善を加えていきたいと思えます。なお、実際に災害があった場合には行政や町内会からの通報・避難指示が間に合わない場合も考えられます。町内の皆様におきましても、実際の災害発生という場合には、自分自身の判断で行動できるということも必要ではないでしょうか。

なお、高齢者・要援護者の方につきましては、訓練参加の負担や事故の危険等も考え、訓練に参加するかどうかは要援護者ご自身やご家族の判断に委ねましたが、今後は近所の「支援者」の手助けを借りて積極的に訓練に参加していただくことも考えていきたいと思えます。

チェックシートとりまとめ結果のうち、前掲の意見・感想以外については次号でお知らせいたしたいと思えます。



隣組で集合



一次避難所(幸清水公園)



避難所(新津高校)にて

---

---

## 弔 謹んでご冥福をお祈りいたします

白井トメ様	平成26年4月御逝去	関谷清様	平成26年7月御逝去
水野ハナ様	平成26年9月御逝去	阿部實様	平成26年10月御逝去
長谷川フサ様	平成26年10月御逝去	前田富代様	平成26年11月御逝去

(本年4月以降、町内会にご連絡があった方々を掲載いたしております)

